

センセイコール(17)

21) 音が出ない・小さい

パソコンから出る音量を調節する方法はいくつかあります。

ハード的な方法(機械のボタン操作)と、ソフト的な方法(音量を調整する / できるプログラムで設定)とがあります。

パソコン室の生徒機では、ソフト的な方法は起動時に初期化されますので、ここでの音のトラブルは、ハード的な設定によるものになります。

デスクトップパソコンでは、モニタ(画面)にスピーカが内蔵されているものが多いので、その音量もモニタに付いているボタンで変更できるようになっています。ノートパソコンでも、音量操作のためのレベル調整装置が付いているものがあります。

ハード的に音量を変更していると、いつもその音量になってしまうので、音が出ない、とか、大きすぎる・小さくて聞きづらい、ということになります。

パソコン室の生徒機は、ハード的な音量を45に設定してあります。この数値は、ほとんどの音の出るアプリケーションで、概ね適当な音量で聞くことのできる数値です。モニタに音量ボタンのあることを知っている子どもがこれを変更してしまうと、パソコンを再起動しても、適正な音量ではなくなってしまいます。

授業などでアプリケーションごとに音量を変更したい場合は、ソフト的な変更をします。これは、タスクバーのスピーカアイコンをクリックして変更します。「ミュート」にチェックを入れると、消音になります。

アプリケーションによっては、タスクバーが表示されていない場合があります。このときは Windows キー() + Tab キーで、タスクバーを表示することができます。タスクバーを表示すると、一時的にアプリケーションの動きが止まります。再開したいときは、画面をクリックします。

キーボードでスペースキーの段(最下段)両方の隅の方にある、窓のマークのキー

ときどき、全部のパソコンの音量を設定し直しますが、いつの間にか変わっています。音量設定が、ソフト的に行うことができることを、是非知っておいていただきたいです。